

# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.120



3月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : http://www.kankou-fa.jp

2019年3月1日

## インバウンドと日本らしさへの問いかけ

副会長 涌井史郎

「Make People from All Over the World Love This Country (日本好きで溢れる世界を創る)」。これはインバウンドを扱うある企業のコンセプトを表現したコピーである。

JATA (日本旅行業協会) では、マーケットの進化・深化は加速的に進展しており、日本のように成長期にあるデスティネーションにはマーケット変化に対しそれを鋭敏に捉え対応していくことが極めて重要になると捉え「旅行者が訪日旅行に求めるものは、今後、リピーターや FIT が増えることでさらに変化していくものと見られる」と捉えている。そこで以下の課題があるとしている。

- ①目的志向や体験志向など市場の成熟化に対応するためにリピーターやハイエンド層(準富裕層)をターゲットとしたジャパンコンテンツの拡充(体験や地域での展開を意識)
  - ②欧米豪やアジア市場等の今後の状況を踏まえたマーケティングの高度化
  - ③ランドオペレーター登録制度や緊急時対応のインフラ整備など安心・安全と信頼性にかかわる品質の更なる引き上げ
  - ④IT や新たなテクノロジーを活用したビジネスの受け皿となる法的・制度面の整備。
- まさにその通りであろう。

それでも、未だ我々は「芸者・富士山・桜」に代表される訪日外国人のデスティネーションの嗜好訪日外国人の何を体感したいのかという古典的イメージから脱却しきれていない。実態は、IT 情報の多様化から得た様々な日本に対する事前の情報収集により、時に日本人をはるかに超える驚くべき事前の知識を得て、多様なデスティネーションを指向している。

筆者が愛・地球博で師事を許された(故)木村尚三

郎先生は、「世界史から見ても人々は不安を時代から感得したときに必ず探検・旅行そして人々の大移動・大交流が起きている」と常に語られていた。持続的未來を模索せざるを得ない今という時代は、まさにそうしたカテゴリーに属する時代であろう。

勿論、旅行とはそうした堅苦しいものばかりではなく、楽しむものである。しかしどうせならエデュテイメント。造語としてのエンターテイメントとエデュケーションが合体した、楽しみながらも多少新たな知識やイメージを得、学びながら楽しもうとする旅行への動機や期待があることは否定できない。

渋谷のスクランブル交差点に、なぜあれほどの外国人が訪れるのか。奈良や安芸の宮島に何故。徳島県の秘境平家の落人伝説に満たされたあの不便な祖谷溪・大歩危・小歩危に。疑問は尽きない。しかしそこにこそデスティネーションの面白さと妙味がある。実はこのような日本像は今に始まったことではない。明治の初年、独身女性として日本各地を旅行した英国人イザベラ・バードがいる。その彼女の目線こそ今のインバウンドの旅客に通じるものがある。

我々は、金太郎飴的なインバウンドへの既成概念を捨て、余計な足し算をせず、そのまま・ありのままの自然に導かれた暮らしの姿こそが、自然共生と再生循環を抜きにして語れぬ持続的未來に対応したライフスタイルを、先進国でありながらその伝統をも垣間見る事が出来るミステリアスな日本に見出したという人々は存外多い。

この協会は、今大胆に活動領域を拡大し、それなりの影響力を持つように成長しつつある。会員の我々こそが、インバウンドへの既往の概念を捨て、日本とは何かという根本的懐疑を深め、我々が忘れて久しい日本を問い直すことが今求められていると考える。

## HOTERES JAPAN 2019の報告

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野 一行

2019年 第47回国際ホテル・レストラン・ショーは、2月19日(火)~22日(金)に開催され、なんと昨年の1割増となる約67,200名の来場者を得て、盛況裡に終えることができました。

当協会ブースは、今年も「日本のこころ」を総合テーマに、「匠のこころ」「エコ・小のこころ」「旅するこころ」「木づかいのこころ」「巧みのこころ(新UD客室研究)」「巧みのこころ(Aiと観光施設)」のテーマ展示に「耐震研究会」「交流部会」を加えた8つのブースを構え、センタープラザを合わせ、合計23小間、207㎡での出展となりました。センタープラザを走るITワゴンや通常のユニットバスのバリアフリー化に貢献する小型電動車椅子のデモンストレーション展示をはじめ、いづれのブースも例年にも増して内容が充実しており、

協会内外の多くの方々からお褒めの言葉をいただきました。

「ホスピタリティデザインセミナー」における当協会主催の「ホテル・旅館の開発&デザイン 最新潮流 2019」と銘打った12枠のセミナーは、今年も好評を博し、今では同デザインセミナーの中心的な役割を担っています。

2日目の涌井副会長のオープニングセレモニー・基調講演の後には、今年も会員相互の交流の場「サロン」を開催しました。ワインと軽食で会話ははずみ、協会を取り巻く異業種間の交流は、プラットフォームとしての協会のありかたを象徴しているようでした。

## 建築部会の活動状況とこれからの予定

建築部会長 崎山 茂

建築部会では昨年7月の水上セミナー第3弾の後、東京農業大学の宮林先生をお招きし「都市と地方を結ぶ河川を巡る旅」と銘打った講演会を開催しました。その後、年が明けてから上野にオープンした新しいコンセプトのデザインホテルNOHGA HOTELの見学会を行いました。今年も暖かい季節を待って第4回目の水上セミナーを江東のよりディープなエリアで開催する予定です。その一方で最新のホテルの実例を見学する機会を多く持つよう継続して情報を集めています。日本文化の源である水資源を観光資源として見つめ直す試みと、新しい宿泊の動向を知る活動の二本の柱を軸に会員の交流をさらに深めたいと考えています。

## 設備部会の活動状況とこれからの予定

設備部会長 藤野健治

設備部会では、「地球環境保全関係の情報を収集・鑑賞し広める活動」「会員企業にとって興味のある施設の見学を通じて新技術等に関する幅広い知識を習得する活動」等を行っております。平成31年度の事業計画としては、2回（2019年7月と2020年3月に開催予定）の施設見学会と1回の設備部会全体交流会（2019年11月に開催予定）を予定しており、幹事会にて実現に向けた打合せを進めています。見学会では会員各社の新製品・施設のご紹介や関心の高い施設の見学を行うとともに懇親会を行って会員相互の親睦を図る予定です。また、見学会および交流会の概要は機関誌に掲載し皆様に情報発信致します。

## インテリア部会の活動状況とこれからの予定

インテリア部会長 寺本昌志

インテリア部会では今年度も昨年実施し好評だった部会全体交流会を9/26に行いました。今回は各グループの活動内容に加え、各グループで活動している委員の方から活動の実態や活動に参加した感想などもお話頂き、部会活動がどのように行われているか理解頂けるように企画致しました。その成果があつて6社8名の方から申し込みがあり、活動に新しく参加頂く事となりました。申込み頂いた新メンバーの皆さんには参加グループの希望を頂き、それを前提に所属グループを決め活動頂いております。

今年度の各グループ活動状況については6/8に施設見学グループが「ホテルエミオン東京ベイの見学」を実施、8/23には新情報発信グループがインダストリアルデザイナーの福田哲夫氏による「新幹線などの

デザインについて」の研究会を開きました。また企業見学グループでは9/18に「阿部興業株式会社中央研究所」の見学会を行い、11/8にはセミナーグループがフェラーリをデザインしたデザイナーの奥山清行氏を招き「未来のデザイン」をテーマにセミナーを実施しました。今後も部会活動を通じ会員の皆様へ有意義な情報をお届けできるよう、また委員の皆さんがこの活動を通じて、より良い交流を楽しく行えるよう考えていきたいと思っています。

## 賀詞交歓会 報告

1月10日ホテルメトロポリタン・エドモントにおいて平成元号最後の賀詞交歓会を開催しました。190名の会員が新年を寿ぎ相互に交流を深め合いました。念頭にあたり、鈴木会長より「今後協会は、観光技術のプラットフォームを目指し、最新技術で宿泊業界が抱える人手不足など課題解決に向けて提案をしていく」との挨拶がありました。

観光庁より鈴木貴典観光産業課長がお見えになりご祝辞と乾杯のご発声いただきました。

## 2019年度通常総会開催日及び会場について

通常総会および総会後の交歓会は6月12日（水）ホテルグランドパレスで開催することにしました。

## ☆ 新入会員紹介 ☆（入会順）

### 【メーカー】飛弾産業株式会社

（代表者）代表取締役 （担当者） コントラクト事業部 部長  
岡田賛三 尾崎哲也  
〒506-8686 岐阜県高山市漆垣内町 3180  
TEL0577-32-1001 FAX0577-34-9185  
営業内容：木製家具製造販売

### 【メーカー】コンフォート株式会社

（代表者）代表取締役 （担当者） 営業2部  
佐藤和也 藍原照佳  
〒108-0071 東京都港区白金台 3-2-10 白金台ビル  
TEL03-5798-3902 FAX03-5798-3901  
営業内容：建設資材の販売、事業用建物、一般住宅の企画・設計・施工、輸入インテリア・クォリティ用品の販売

### 【設計・コンサル】株式会社セック

（代表者）代表取締役社長 （担当者）執行役員 開発本部  
秋山逸志 鈴木隆弘  
〒158-0097 東京都世田谷区用賀 4-10-1  
TEL03-5491-4402 FAX03-5491-4771  
営業内容：社会公共分野、先端分野のリアルタイムソフトウェア及びソリューションの提供

# 第112回ゴルフ会の予告

会長代行 杉浦 司

恒例の国際観光施設協会の春のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日時：平成31年5月23日(木)  
コース：立野クラシックゴルフ倶楽部  
プレイ費：約22,000円  
(キャディ付・昼食・パーティ+1ドリンク) 各自精算  
会費：4,000円

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くのご参加をお待ちしております。

## ♥編集後記♥

今年度の事業もあと一月余りとなりました。今年度の事業の締めくくりとして、また新年度の活動の目標として、毎年発表していますホテルレストランショーにおいて、今年度は新しい事業として補足した「施設の人手不足を補う物品の自動移動機の開発活用を提言する事業」、「施設のバリアフリー化に役立つ小型電動車椅子の開発活用を提言する事業」、「施設の安全安心を図るため合理的な耐震改修を研究提言する事業」が新たに発表され、大いに関心が高まりました。

益々高まる期待に応えられますよう新年度も全員で頑張って参りたいと思います。 Y. K